

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	保育学科	夜・通信	8		45	53	7	
	養護保健学科	夜・通信	10		49	59	7	
	歯科衛生学科	夜・通信	7		40	47	10	
	医療秘書学科	夜・通信	10		41	51	7	
	専攻科 口腔保健学専攻	夜・通信	0		32	32	4	
(備考) ※全学共通科目においては、学科により科目担当者が異なる場合があることから、実務経験者のカウントに差異あり。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 「実務経験教員の授業科目一覧」 URL： https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/tanjyugyoukamokuichiran.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/</p>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	(前職) 大阪大学大学院 生命機能研究科・医学 系研究科教授	2025.5.23～3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	経営機能強化に資する多様な提言
非常勤	(現職) 社会保険労務士事務所 代表社員 労務管理事務所 代表取締役	2025.5.23～3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	経営機能強化に資する多様な提言
非常勤	(現職) 法律事務所 弁護士	2025.5.23～3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	経営機能強化に資する多様な提言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成に関しては、例年、10月以降の教務委員会にて記載内容の検討を開始し、翌年1月各授業担当教員に作成依頼を行い、2月上旬に各授業担当者から提出されている。</p> <p>シラバスの具体的な項目は、①目的 ②概要 ③到達目標 ④授業計画 ⑤授業形態 ⑥教科書 ⑦参考書 ⑧準備学習・関連学習 ⑨準備学習(予習・復習等)に必要な時間 ⑩評価方法 ⑪フィードバック ⑫留意点 ⑬ナンバリングコード で構成されており、記載内容を徹底するため、「シラバス作成・活用ガイド」を作成し授業担当教員に通知している。また、シラバス完成までに教務委員によるチェックを経て3月に公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 (授業に関する「年間授業計画(シラバス)」) URL : https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/index.html</p> <p>検索方法：ユニバーサル・パスポート (学生ポータルサイト)にて検索 URL : https://unipa.fuksi-kagk-u.ac.jp/uprx/up/bs/bsa001/Bsa00101.xhtml</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価を行うにあたっては、筆記試験、口述試験、実技試験、レポートなど多様な方法を用いており、学則、規程で定めている。</p> <p>また、シラバスの「評価方法」に成績評価の基準を示し、これらに基づき客観的に厳正かつ適正な学修成果を判定し評価を行っている。</p> <p>成績の評価、単位の授与については、学則に定め、授業科目を履修し、試験等の成績評価において合格基準を満たした者には単位を与えている。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

G P Aの算出方法等に関しては、試験内規において定めている。

具体的には、G P (Grade Point)を用いて、履修科目のG P A (Grade Point Average)を算出し、総合成績評価を行う。成績評価におけるG P (Grade Point)は以下のとおりである。

評価	点数	GP
秀	100-90	4
優	89-80	3
良	79-70	2
可	69-60	1
不可	59-0	0

$G P A = (\text{評価を受けた各授業科目の} G P \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和} / \text{評価を受けた授業科目の総単位数}$

なお、G P Aは小数第二位まで表示する。小数第二位未満の端数があるときは、小数第三位の値を四捨五入する。

学生各人のG P Aの通知は成績通知と同時にを行っている。G P Aが1.0未満の者には指導を行い、改善が見られない場合には退学勧告等を行うことがある。

シラバス作成時に、全教員へ科目全体の成績評価におけるG P 値の割合や成績分布などの結果を示し、成績評価の平準化に活用している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開
(「成績評価基準」)
URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/seisekihyoukakijun.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、全学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を定め、各学科の教育目標を達成することにより、以下の能力を身につけることを目指している。

1. 自己成長を促し、自分の考えに基づき主体的に行動できる。
 2. 自らが生きる上で必要な問題解決能力を持っている。
 3. 自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を持っている。
 4. 自らが目指す専門職の基本を理解し、その向上に意欲を示している。
 5. 自らが目指す専門職の知識・技能を活かし、社会に貢献することができる。
- これらをもとに、学科ごとにより具体的なディプロマ・ポリシー及び学習成果を定めている。

また、各学科のカリキュラム及び卒業に必要な最低単位数は、学則に定めている。各学科の教育課程が定める授業科目を履修し、基準となる単位を修得した者には、教授会での審議を経て、学長が認定し、学位を授与している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開
(全学 三つのポリシー)
URL：<https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/index.html>
(卒業（修了）認定基準)
URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/sotugyouninteikijun.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/
収支計算書又は損益計算書	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/
財産目録	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/
事業報告書	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/
監事による監査報告(書)	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL : https://www.tamateyama.ac.jp/report/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開
URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/
上記 URL 内「その他」>「大学評価」参照

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開
URL：<https://www.kwc.ac.jp/profile/evaluation.html>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 : 保育学科、養護保健学科、歯科衛生学科、医療秘書学科
教育研究上の目的 (公表方法: 関西女子短期大学 HP)
(概要) 【関西女子短期大学の教育目的】 教育理念に基づき、高い倫理観と豊かな人間性を育み、主体性と問題解決能力を身につけ、社会に貢献する人間の育成を教育目的としている。 URL : https://www.kwc.ac.jp/profile/overview/sprit.html 【各学科の教育目的】 (保育学科) URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/childcare/outline.html (養護保健学科) URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/health/outline.html (歯科衛生学科) URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/dental/outline.html (医療秘書学科) URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/medical/outline.html
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法: 関西女子短期大学 HP)
(概要) 【全学のディプロマ・ポリシー (抜粋)】 関西女子短期大学では、建学の精神「感恩」及び教学理念「夢と志」を基盤として、高い倫理観を持って人のために働きたいという情熱と基本に則った専門知識と技能、さらにはそれらに裏打ちされた主体的行動力と問題解決能力を持って、社会に貢献する人材の育成を行います。 教育目的に沿って各学科で設定された授業科目を履修し、基準となる単位数を取得することが、卒業の必須条件となります。卒業と同時に短期大学士の学位が与えられます。さらに、各学科の教育目標に沿った能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、それぞれの学科で目標としている免許・資格を取得できます。 URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/index.html 【各学科のディプロマ・ポリシー】 (保育学科) URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/childcare_policy.html (養護保健学科) URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/nursingcare_advancedpolicy.html (歯科衛生学科) URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/dentalhygiene_policy.html (医療秘書学科) URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/medicalsecretary_policy.html

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）

（概要）

【全学のカリキュラム・ポリシー（抜粋）】

関西女子短期大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）で明記している人材の育成のために、以下の方針で教育課程（カリキュラム）を編成しています。

1. 教育内容

- 1) 自己成長と主体的行動を促す上で必要な各分野の基礎知識と技能、並びに社会人としての一般教養を身につけるため、総合教養科目、外国語科目、健康教育科目、情報教育科目、福祉教育科目からなる、共通教育科目を設置する。
- 2) 問題解決能力を修得するために、研究や討論を実践的に積み上げるゼミ形式の基礎演習と研究演習を実施する。
- 3) コミュニケーション能力と主体的に行動する能力を培うために、「関女技能オリンピック」などの体験的・参加型の行事の場を提供する。
- 4) 各学科の専門的な知識と技能を体系的に学べるように、専門教育科目、教職課程科目を設置し、資格取得に必要な能力を育てる。
- 5) 社会に貢献できる専門職になるために、高い倫理性に裏付けられた専門的な知識と技能の基本を修得するための実習科目を設置し、丁寧で細やかな個別指導を実施する。

2. 教育方法

- 1) 各科目について、到達目標、授業計画、評価方法、準備学習、関連学習、ディプロマ・ポリシーとの関連を明確にし、周知する。
- 2) 学生が主体的に学習に取り組む教育方法を実施し、教育内容の定着を図る。
- 3) 学生は学期ごとに学修の目標設定と振り返りを行い、教員は学生の自己評価を参考に学習行動の改善を行う。
- 4) 学生が、必要とされる知識や技能を主体的に学ぶ力を身につけるため、多様な授業形態と教育方法を取り入れて、細やかな支援を実施する。

3. 教育評価

- 1) GPA 制度などにより、教育の質保証に向けて点検・評価・改善を行う。
- 2) 各科目のシラバスに定める評価方法に基づき、厳格な評価を行う。
- 3) 学生は「夢ノート」を利用して自己の学修を振り返り、教員は学生の自己評価を踏まえて指導、評価する。
- 4) ディプロマ・ポリシーの達成に向けて、学生の学習成果の全体を評価する。

URL : <https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/index.html>

【各学科のカリキュラム・ポリシー】

（保育学科）

URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/childcare_policy.html

（養護保健学科）

URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/nursingcare_advancedpolicy.html

（歯科衛生学科）

URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/dentalhygiene_policy.html

（医療秘書学科）

URL : https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/medicalsecretary_policy.html

入学者の受入れに関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）

（概要）

【全学のアドミッション・ポリシー（抜粋）】

1. 求める学生像

関西女子短期大学では、各学科の教育目的である専門職になることを自らが志し、学修を行うに十分な基礎学力を有し、高い倫理観及び人のために働きたいという情熱と感謝の気持ちを常に持って、積極的に社会に貢献しようとする人を求めます。さらに、学科ごとの特色に応じて求める学生像を定めています。

2. 入学者に求めるもの

関西女子短期大学への入学を希望する人は、下記の能力・意欲が求められます。

- ① 高等学校などの卒業時までには修得すべき知識・技能
- ② 高等学校などの卒業時までには身につけておくべき思考力・判断力・表現力
- ③ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぼうとする意欲
- ④ 人と積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲
- ⑤ 各学科の教育目的である専門職に就くことを強く希望し、その気持ちを持続する意欲

URL：<https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/index.html>

【各学科のアドミッション・ポリシー】

（保育学科）

URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/childcare_policy.html

（養護保健学科）

URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/nursingcare_advancedpolicy.html

（歯科衛生学科）

URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/dentalhygiene_policy.html

（医療秘書学科）

URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/medicalsecretary_policy.html

学部等名：専攻科 口腔保健学専攻
教育研究上の目的（公表方法：関西女子短期大学 HP）
<p>（概要）</p> <p>口腔保健学専攻では、建学の精神「感恩」及び教学理念「夢と志」に則り、高い志と自ら思考し行動できる力を持つ、応用能力を備えた歯科保健医療指導者の育成に努めています。</p> <p>現代日本においては、高齢社会の急速な進展等により、病院や高齢者・障害者福祉施設での様々な疾患や障害を併せ持つ患者・入所者に対する口腔ケア・口腔健康管理のニーズも高まっています。口腔保健学専攻では、特別な配慮を必要とする対象者を含めすべての人への歯科予防処置、歯科診療の補助、口腔健康管理、摂食嚥下障害に対するリハビリテーションを含む歯科保健指導等の要求に応じることができる、高いコミュニケーション能力を有する歯科衛生士の養成を目指しています。</p> <p>URL： https://www.kwc.ac.jp/faculty/adv_ohs/outline.html</p>
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）
<p>（概要）</p> <p>口腔保健学専攻では以下のような能力を身につけ、所定の単位を修得した者に修了を認定します。さらに独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構の審査に合格した者に学士（口腔保健学）が授与されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神と教学理念を基に、医療人としての高い使命感と倫理観を有し、口腔保健学の高度な知識と技能を歯科臨床の場で実践できる。 2. 社会的要求に応じることができる優れたコミュニケーション能力を身につけ、特別な配慮を要する対象者にも対応できる。 3. 歯科衛生士の指導者としての自覚を持ち次世代の歯科衛生士を教育・指導することができる。 4. 科学的探究心を持ち、高度で多角的な研究活動を実践できる力を身につけ、口腔保健学の発展に貢献できる。 <p>URL： https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/advancedpolicy.html</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）
<p>（概要）</p> <p>口腔保健学専攻では、ディプロマ・ポリシーで明記している能力を修得するために、以下の方針で教育課程（カリキュラム）を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育内容 <ol style="list-style-type: none"> 1) 知識と技能を集積・統合するとともに汎用的能力を育成するため、「問題解決型学習」をはじめとするアクティブラーニングを積極的に取り入れる。 2) 口腔保健学を保育学的視点、学校教育学的視点、医療社会学的視点から掘り下げるために「学際融合科目」を配置する。 3) 科学的探究心と問題解決能力を養うため、「専攻特別研究」を開講する。 2. 教育方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) シラバスに到達目標、授業計画、成績評価基準・方法、予習・復習、関連学習、ディプロマ・ポリシーとの関連について明記するとともに、最初の授業において各科目でオリエンテーションを行い周知する。 2) 学生が主体的に学習に取り組めるようアクティブラーニングを主軸としたさまざまな教育形態・方法を実施する。 3) 学生自らが学習時間を確保し、自主学習できるよう細やかな支援を実施する。 3. 教育評価 <ol style="list-style-type: none"> 1) 各科目の評価はシラバスに定める方法に基づき厳格に行う。 2) ディプロマ・ポリシーの達成に向けて、学生の学習成果の全体を評価する。 <p>URL： https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/advancedpolicy.html</p>

入学者の受入れに関する方針（公表方法：関西女子短期大学 HP）

（概要）

口腔保健学専攻では以下のような資質を備えた人を求めます。

- ① 歯科衛生士としての専門的知識と技術を修得し、コミュニケーション能力を有する人
- ② 医療従事者としての倫理的な感受性と判断力を持って行動できる人
- ③ 口腔保健学への科学的探究心を持ち、臨床、研究および教育に意欲がある人
- ④ 専門性を高めたいという向上心とともに、口腔保健学の発展に貢献する意欲のある人

URL： <https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/advancedpolicy.html>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開

URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/index.html

上記 URL 内「教育研究上の基礎組織」>「組織図」参照

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
保育学科	—	5人	1人	2人	0人	0人	8人
養護保健学科	—	3人	2人	0人	0人	0人	5人
歯科衛生学科	—	4人	3人	2人	0人	2人	11人
医療秘書学科	—	1人	0人	1人	1人	0人	3人
専攻科 口腔保健学専攻	—	5人	3人	0人	0人	0人	8人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		64人					65人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：関西女子短期大学 公式 WEB サイト内 各学科ページ 教員紹介内に公開（URL 参照） 保育学科： https://www.kwc.ac.jp/faculty/childcare/teacher.html 養護保健： https://www.kwc.ac.jp/faculty/health/teacher.html 歯科衛生： https://www.kwc.ac.jp/faculty/dental/teacher.html 医療秘書： https://www.kwc.ac.jp/faculty/medical/teacher.html 専攻科 口腔保健学専攻： https://www.kwc.ac.jp/faculty/adv_ohs/teacher.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育学科	60人	26人	43.3%	120人	91人	75.8%	0人	0人
養護保健学科	25人	18人	72.0%	50人	28人	56.0%	0人	0人
歯科衛生学科	80人	45人	56.3%	240人	180人	75.0%	0人	0人
医療秘書学科	25人	14人	56.0%	50人	33人	66.0%	0人	0人
専攻科 口腔保健学専攻	5人	2人	40.0%	—人	—人	—%	0人	0人
合計	195人	105人	53.8%	460人	332人	72.2%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	31人 (100%)	0人 (0%)	31人 (100%)	0人 (0%)
養護保健学科	22人 (100%)	0人 (0%)	21人 (95.5%)	1人 (4.5%)
歯科衛生学科	66人 (100%)	1人 (1.5%)	54人 (81.8%)	11人 (16.7%)
医療秘書学科	29人 (100%)	0人 (0%)	29人 (100%)	0人 (0%)
専攻科 口腔保健学専攻	5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
合計	153人 (100%)	1人 (0.7%)	140人 (91.5%)	12人 (7.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) (学)玉手山学園、(学)白鳳幼稚園、(学)松尾学園、(福)四恩学園、(福)白ばら学園、(福)弘仁会、(福)八尾隣保館、(福)兵庫県社会福祉事業団、(医)英悠会、(医)鴻池会、(医)紀真会、(医)貴和会、(医社)わははグループ、(医)藤井会、(医)ラポール会、(公財)天理よろづ相談所、(社医)医真会、(社医)生長会、(社医)若弘会、(地独)大阪市民病院機構、(地独)名張市立病院、(社医)大阪国際メディカル&サイエンスセンター、(地独)大阪府立病院機構、富士電線工業(株)、(教育委員会:大阪府、奈良県、守口市、八尾市、東大阪市、交野市、京都市)、関西女子短期大学口腔保健学専攻				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
保育学科	55人 (100%)	31人 (56.4%)	0人 (0%)	4人 (7.2%)	20人 (36.4%)
養護保健学科	25人 (100%)	22人 (88.0%)	0人 (0%)	3人 (12.0%)	0人 (0%)
歯科衛生学科	81人 (100%)	66人 (81.5%)	4人 (4.9%)	11人 (13.6%)	0人 (0%)
医療秘書学科	31人 (100%)	29人 (93.6%)	1人 (3.2%)	1人 (3.2%)	0人 (0%)
専攻科 口腔保健学専攻	5人 (100%)	5人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
合計	197人 (100%)	153人 (77.7%)	5人 (2.5%)	19人 (9.6%)	20人 (10.2%)
(備考) 保育学科の入学者数 55 人において、修業年限 3 年の長期履修生 (入学者数 23 人、中途退学者 3 人) が含まれており、在学中の 20 人をその他欄に計上した。 長期履修生混在のため修業年限期間内卒業・修了者率は 56.4% (31 人/55 人) となっているが、長期履修生を除いた入学者 32 人を分母とするとその率は 96.9% (31 人/32 人) となる。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>各学科の教育課程については、カリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーを活用し、体系的な教育課程や履修を推進している。</p> <p>各授業科目のシラバスには、目的や概要、到達目標を記載し、各回の詳細な授業計画に加え、必要な準備学習（予習・復習等）も具体的に示している。その他、授業形態や評価方法等も明記している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて、学習成果やカリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーを整備している。各授業科目のシラバスに、科目に関係する学習成果を示すことで身につけることができる資質や能力等を明確している。また、学則や規程に定めている評価基準による成績を指標に各人の学習成果を作成し、各年度に配付して学生の学習状況を可視化している。</p> <p>卒業の認定については、各学科の卒業に必要な最低単位数を学則に定め、卒業基準となる要件を満たした者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。</p>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	保育学科	62 単位	有・無	単位
	養護保健学科	62 単位	有・無	単位
	歯科衛生学科	97 単位	有・無	単位
	医療秘書学科	62 単位	有・無	単位
	専攻科 口腔保健学専攻	32 単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスガイド URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/campusmap.html ・図書館 URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/library/librarytop.html ・その他の学習施設 URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/jouhousyori.html ・障害のある方への合理的配慮について URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/syougaisya.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	保育学科	930,000 円	300,000 円	301,200 円	・教育充実費 (250,000 円) ・履修費 (51,200 円)
	保育学科 (長期履修生)	620,000 円	300,000 円	267,800 円	・教育充実費 (250,000 円) ・履修費 (17,800 円)
	養護保健学科	930,000 円	300,000 円	324,000 円	・教育充実費 (250,000 円) ・履修費 (74,000 円)
	歯科衛生学科	930,000 円	300,000 円	348,800 円	・教育充実費 (300,000 円) ・履修費 (48,800 円)
	医療秘書学科	930,000 円	300,000 円	286,000 円	・教育充実費 (250,000 円) ・履修費 (36,000 円)
	医療秘書学科 (長期履修生)	620,000 円	300,000 円	274,000 円	・教育充実費 (250,000 円) ・履修費 (24,000 円)
	専攻科 口腔保健学専攻	400,000 円	100,000 円	100,000 円	・教育充実費 (100,000 円)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ・入学式後、2日間のオリエンテーションを実施し、学生の新たな修学環境への適応を支援している。また、学科ごとにオリエンテーションを実施し、丁寧な履修指導を行っている。特に、1年生については、履修以外にも講義の受け方、試験、成績評価、単位認定等、今後の修学に係るきめ細かい指導を行う。 ・学生が入学時の目標を持ち続け、学びの記録を残すため全学生を対象とした「夢ノート」を実施している。教員は記述内容や出席状況から学生の現状を把握し、学生の対応など有効に活用している。また、授業以外に相談できるオフィスアワーを設定し、いつでも学生の要望に応じて個別指導を行っている。その他、3回欠席した学生の保護者との情報共有をはかり、きめ細かい修学支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) ・学科毎の専門性を活かす進路の支援や啓発 (学科別就職ガイダンス、ライフデザイン講座) ・就職活動のスキルに対する支援 (短大生のための就職セミナー、ビューティ・アップセミナー、就職支援講座) ・就職情報収集と活用のための支援 (求人検索ナビシステムの導入)
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) ・学生相談室の設置 (月～金 10:00～17:00) ・保健室の設置 (月～金 8:50～17:00) ・学生支援センター、学生相談室、保健室相互の連携 (合同カンファレンスにて情報共有と対応の検討)

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開

URL：<https://www.kwc.ac.jp/profile/>

公表方法：関西福祉科学大学・関西女子短期大学 地域連携サイト内にて公開

URL：https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/chiikirenkei/regional_program.html

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F227310108561
学校名 (〇〇大学 等)	関西女子短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 玉手山学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生 (内数) ※家計急変による者を除く。		118人 (17) 人	106人 (15) 人	120人 (20) 人
内 訳	第Ⅰ区分	43人	35人	
	(うち多子世帯)	(12人)	(一人)	
	第Ⅱ区分	16人	21人	
	(うち多子世帯)	(一人)	(一人)	
	第Ⅲ区分	10人	一人	
	(うち多子世帯)	(一人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	20人	16人	
	区分外 (多子世帯)	29人	26人	
家計急変による 支援対象者 (年間)				一人 (0) 人
合計 (年間)				121人 (69) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	一人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	一人	一人
計	人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	人
前半期	0人
後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	一人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	10人	一人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	10人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。